

社会福祉連携推進法人の現状と課題

2022（令和4）年度から「社会福祉連携推進法人制度」がスタートしていますが、2023年5月9日現在で認定されているのは全国で15法人となっています。福祉・介護人材の確保や、法人の経営基盤の強化、地域共生の取り組みの推進などに役立つ制度である一方で、設立を難しく感じている事業者もあります。すでに設立した法人の取り組みを参考にしながら、同制度の現状と課題をみていきます。

2022（令和4）年4月からスタートした社会福祉連携推進法人は現在15法人に

社会福祉連携推進法人制度は、2020（令和2）年6月に成立した「地域共生社会実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」により創設され、2022（令和4）年4月からスタートしている。

社会福祉法人は全国に2万1035（令和4年4月1日現在）法人となっているが、サ

ビス活動収益の規模別にみると、1億〜2億円未満（25・6%）が最も多く、次いで2億〜3億円未満（13・7%）、1億円未満（13・6%）と続いている。サービス活動収益の平均は約6億円となっている。

人口の高齢化が急速に進み、福祉ニーズが複雑化・複合化していること、また少子化により年々人材が確保しにくくなるなか、小規模法人各々での事業継続が困難になることも想定されることから、経営基盤の強化やサービス事業者間の連

図1 社会福祉連携推進法人設立による効果

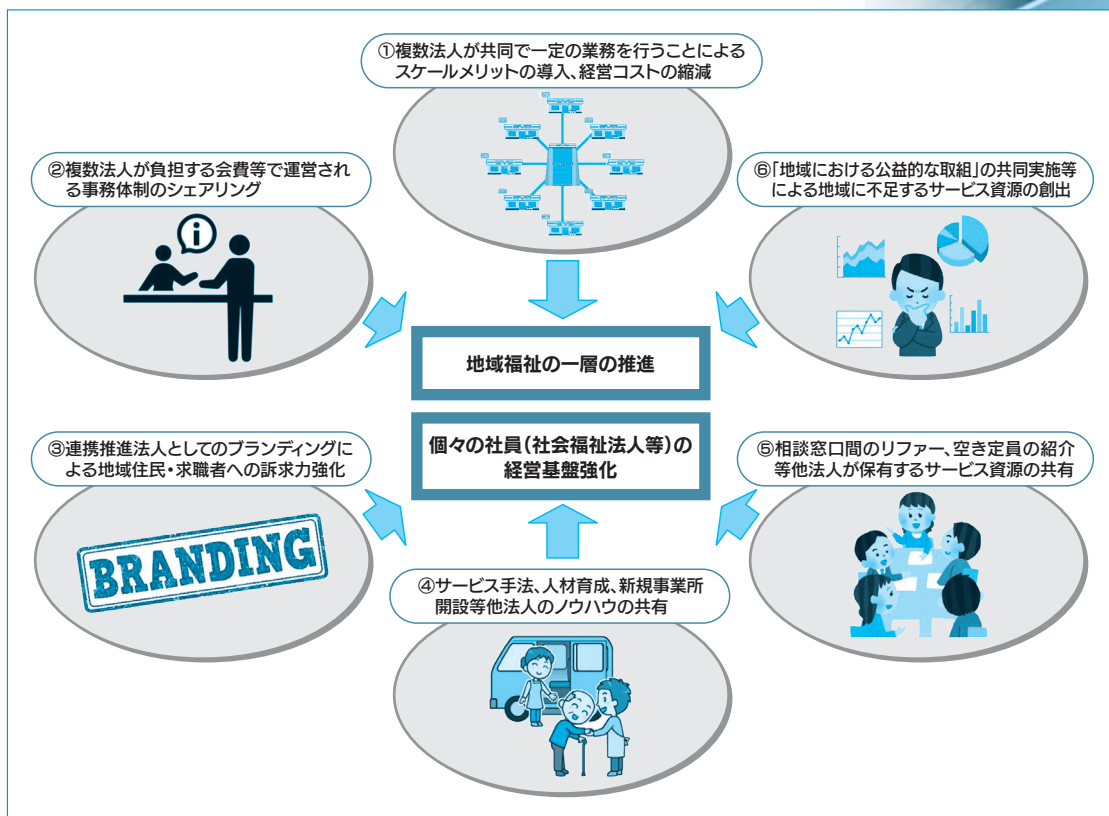
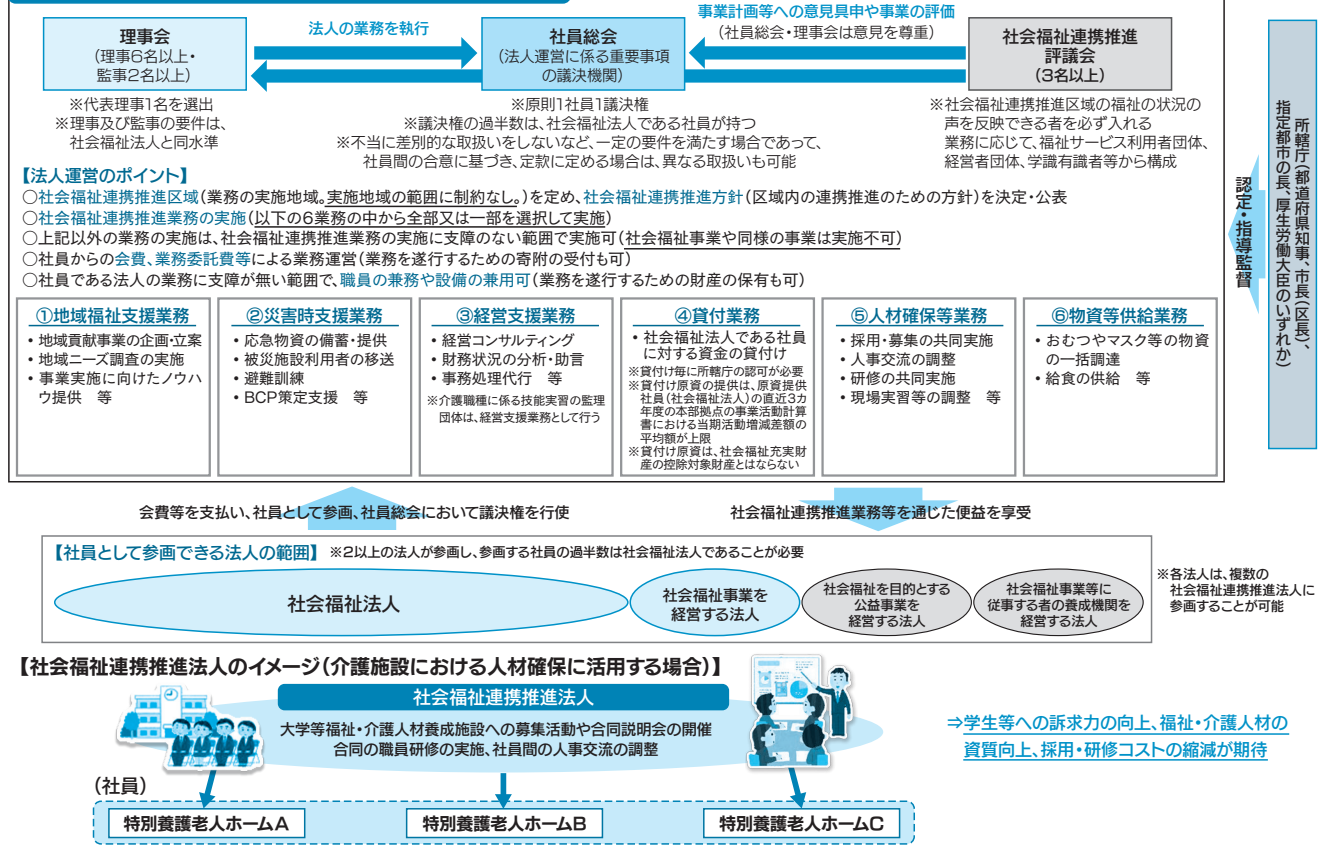


図2 社会福祉連携推進法人について

- 社会福祉連携推進法人は、①社員の社会福祉に係る業務の連携を推進し、②地域における良質かつ適切な福祉サービスを提供するとともに、③社会福祉法人の経営基盤の強化に資することを目的として、福祉サービス事業者間の連携方策の新たな選択肢として創設。
 - 2以上の社会福祉法人等の法人が社員として参画し、その創意工夫による多様な取組を通じて、地域福祉の充実、災害対応力の強化、福祉サービス事業に係る経営の効率化、人材の確保・育成等を推進。
- ⇒社会福祉連携推進法人の設立により、同じ目的意識を持つ法人が個々の自主性を保ちながら連携し、規模の大きさを活かした法人運営が可能となる。

社会福祉連携推進法人(一般社団法人を認定)



社会福祉連携推進法人が実施できる社会福祉連携推進業務は、①地域福祉支援業務、②災害時支援業務、③経営支援業務、④貸付業務、⑤人材確保等業務、⑥物資等供給業務の6つがあり、この中から全部または一部を選択することとなるが、どの業務を行うかは当該法人の判断であることから、

社会福祉連携推進法人が実施できる業務と設立時の課題とは

社会福祉連携推進法人が実施できる社会福祉連携推進業務は、①地域福祉支援業務、②災害時支援業務、③経営支援業務、④貸付業務、⑤人材確保等業務、⑥物資等供給業務の6つがあり、この中から全部または一部を選択することとなるが、どの業務を行うかは当該法人の判断であることから、

携・協働がしやすくなること等を目的に、事業者の新たな選択肢として社会福祉連携推進法人制度が創設されることとなった。同じ目的意識をもつ法人が、個々の自主性を保ちながら連携し、規模の大きさを活かした法人運営が可能となることメリットとしてあげられる(図1)。2以上の法人が社員として参画し、社員の過半数は社会福祉法人であることが必要となっている。制度の概要は図2の通り。

社会福祉連携推進法人制度における連携の度合いは、図3(4頁)の通りとなっている。制度創設以前は、連携の手法として個々の法人による自主的な連携、社会福祉協議会を介した連携、合併・事業譲渡があったが、法人間の自主的な連携、社会福祉協議会を介した連携では連携の度合いが弱い一方、合併・事業譲渡では連携の度合いが強すぎ、中間的な選択肢がないとの指摘があったが、これを解決するものとなっている。

2023年5月9日現在で、全国で15法人が認定されている。

垣根を超えて 地域共生社会の実現へ

— 京都府舞鶴市・社会福祉法人成光苑 地域共生型総合福祉施設ライフ・ステージ 夢咲^{ゆめさき} —

福祉医療機構では、地域の福祉医療基盤の整備を支援するため、有利な条件での融資を行っています。今回は、その融資制度を利用された京都府舞鶴市の「ライフ・ステージ 夢咲」を取りあげます。同施設は、高齢者福祉・障害福祉サービス事業所を併設し、地域共生社会の実現を目指しています。施設概要や実践する取り組みについて取材しました。

変化するニーズに対応し、 地域福祉の向上に貢献

社会福祉法人成光苑（理事長・高岡國土氏）は、時代とともに変化するニーズに対応し、その支援に積極的に取り組むとともに、地域に根ざした施設として地域福祉の向上に貢献することを使命としてきた。

同法人は、和顔愛語の精神のもと「地域に愛される施設づくり」を目指し、昭和25年に母子支援のため、保育所を開設したことに始まる。

現在は、法人本部のある大阪府摂津市をはじめ、大阪府北部と京都府北部において、地域に根ざした保育・高齢者福祉・障害福祉事業を展開している。主な施設として、保育所・認定こども園を7カ

所、高齢者福祉施設を13カ所、障害福祉施設を2カ所運営し、総事業所数は74カ所にのぼる（令和5年5月現在）。

近年は、保育事業・高齢者福祉事業・障害福祉事業で地域共生社会の実現に向けて取り組んでおり、令和4年5月には京都府舞鶴市に地域共生型総合福祉施設「ライフ・ステージ 夢咲」を開設した。

同施設は、地域密着型特別養護老人ホームをはじめ、ショートステイ、訪問介護のほか、障害福祉サービスの障害者グループホーム、生活介護、居宅介護・重度訪問介護、特定相談支援を併設した複合施設となっている。

高齢者・障害者の家族が 一緒に生活できる施設

地域共生型総合福祉施設の開設

施設の概要

社会福祉法人成光苑 地域共生型総合福祉施設 ライフ・ステージ 夢咲

〒624-0841
京都府舞鶴市字引土小字河原田 470 番
TEL 0773-78-3131
FAX 0773-78-2233
URL <https://swc-seikouen.or.jp/>

開設：令和4年5月
理事長：高岡 國土
施設長：山本 幸一郎
併設施設：【高齢者福祉】

地域密着型特別養護老人ホーム（定員29人）、ショートステイ（6床）、訪問介護
【障害福祉】 障害者グループホーム（定員20人）、ショートステイ（2床）、生活介護（定員20人）、居宅介護、重度訪問介護、特定相談支援



「開設経緯としては、舞鶴市は次のように説明する。地域密着型特養を整備する公募事業があり、障害福祉サービスを併設した複合施設の新設を提案したところ、採択に至りました。複合施設を提案した理由として、舞鶴市の人口は年々減少しており、平成27年をピークに高齢者人口は微減傾向に入り、将来的に地域密着



続きは、

月刊誌 **WAM**

本誌にてご覧ください。

定期購読のご案内

月刊誌「WAM」は1年間の定期購読誌です。

購読料／1年間・・・7,524円(税、送料込)

体裁／A4変型判 本文36ページ

編集・発行／独立行政法人福祉医療機構

編集協力／株式会社法研

[定期購読のお申し込みはこちら](#)

お問い合わせ

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル9階

独立行政法人福祉医療機構 総務部 広報課

TEL:03-3438-9240 fax:03-3438-9949